資料１

ハンプや狭さくの設置など歩行者優先施策

【施策の概要】

車優先の道路から歩行者優先の道路への再構築を図るため、一方通行化や歩車共存道路に加え、ハンプ（※）や狭さくの設置などに取り組みます。

【実験概要】

秋田県五城目町：朝市と商店街の共存、安全・安心な道路確保等の実験

五城目町中心部において、一方通行規制を実施した上での仮歩道の設置により歩行者空間を確保するとともに、ハンプによる自動車の速度抑制効果を検証する。また、道路を活用して既存の朝市の設置方法の改善を試行する。

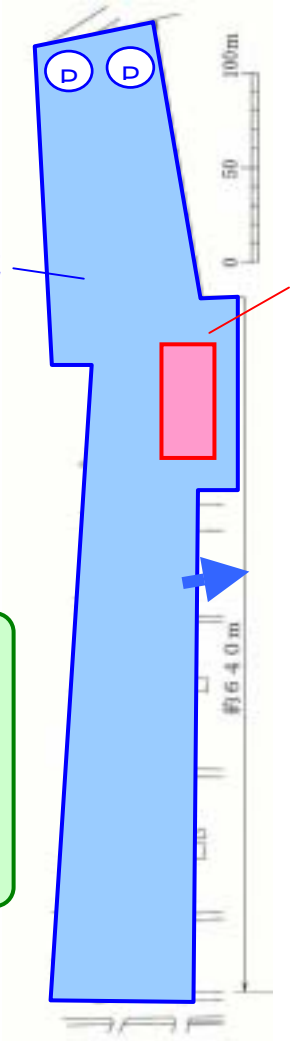
【実験予定時期：平成１８年１０月頃、平成１９年１月頃】

福島県浪江町：浪江ゆうゆう通り交通安全対策社会実験

浪江町の町道において、ハンプによる自動車の速度抑制効果の検証とともに、イメージ歩道の設置による歩行者優先施策を実施する。

【実験予定時期：平成１８年１０月頃】

＜五城目町の例＞



平成１８年１０月頃
平成１９年　１月頃

▼朝市開催時の現況



▼平常時の現況



五城目朝市
- 明応４年（1495）から500 年にわたる歴史を持つ伝統の朝市
- 毎月２、５、７、０の付く日に開催

歩行者空間の確保検討
- 仮設歩道の設置
- ハンプの設置
- 自動車の進入規制（車両一方通行）
- ベンチ等のストリートファニチャーの設置（朝市、除雪作業に支障が無いことを検証）

↓

- 安全で安心して歩ける歩行空間の形成

※ハンプとは、道路に凸部を設置し、車の速度抑制や注意喚起を図るものです。